

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M211N202		保健統計学 (Statistics for Health Reserch)					健康科学							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態				
必修	1	2	医学部看護学 科	前期	月5	日本語				単独				
担当教員	氏名 加隈哲也													
	E-mail kakuma@oita-u.ac.jp 内線 5033													
授業の概要	医療統計学は、科学的でかつ客観的な看護研究において必要な知識である。医療従事者に必要とされる統計学の基本的な考え方について、演習を交えながら理解し、活用できることを目的とする。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	保健学における医療統計の必要性を理解し、その活用について説明できる。							○		○				
目標2	データの一次集計と基本的な検定について解説することができる。							○		○				
目標3	解析データの情報から、科学的でかつ客観的な結論を導き出すことができる。							○		○			○	
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								6		3			1	
授業の内容														
1	イントロダクション、授業の進め方・医療統計のガイダンス													
2	保健師国家試験からみる医療統計(1)													
3	データと基本統計量(1)連続データ													
4	データと基本統計量(2)カテゴリーデータ													
5	統計的推測、仮設検定													
6	統計におけるバイアスと医療統計の意義													
7	種々の検定を理解する(1)													
8	種々の検定を理解する(2)													
9	保健医療領域における主な統計方法(1)相関													
10	保健医療領域における主な統計方法(2)回帰分析													
11	保健医療領域における主な統計方法(3)ロジスティック回帰分析													
12	保健医療領域における主な統計方法(4)多変量解析													
13	そのほかの統計学的手法													
14	保健師国家試験からみる医療統計(2)													
15	講義全体のまとめ													
ラーニング目標	A:知識の定着・確認		○講義内での穴埋め資料、小テスト				工夫その他の	教科書や資料を読み返して、どこに何が書かれているか理解することが大事。 インターネットで統計学の知識を得る。また国家試験で問われている内容を重視する。						
	B:意見の表現・交換		○講義内での質疑応答											
	C:応用志向		○ケースメソッド											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		Moodle上のスライドで次回の学習内容について予習する、インターネットで関連内容の検索も推奨(6h)。											
	事後学修		スライド資料や参考書を用いて授業で学習した内容を復習する(6h)。											
	想定時間合計		12											
教科書	特に指定しない													
参考書	吉田寛輝(著):「いちばんやさしい医療統計」、アトムス、2019、ISBN 9784904307885 牧本清子(著):「疫学・保健統計学 第3版」、医学書院、2015、ISBN 9784260019989													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	穴埋め資料、随時小テスト		20%	○	○	○							
	期末試験		80%	○	○	○							
注意事項													
備考		Moodle上の資料をプリントアウトするか、パソコン上で閲覧できる状態で授業に参加するのが望ましい。											
リンク													
		URL											
担当教員の 実務経験の有無		○											
教員の 実務経験		統計学者としての実務経験はないが、医師としての医学研究では、統計学的手法を使用し論文を執筆する											
実務経験を いかした教育内容		医療統計学的手法を用いた自身の論文を引用・解説することで、保健統計学の実践を表現できるようにしている											